



Workload Optimization Manager 3.4.4 REST API の変更点

2022 年 9 月 23 日

このドキュメントでは、REST API の変更につながる問題について説明します。これは、API プログラミング ガイドの次のリリースまでに蓄積される変更の実行リストです。プログラミング ガイドの新しいバージョンをリリースするときに、これらの変更が含まれます。その時点で、このリストは API への新しい変更から始まります。

API は Workload Optimization Manager 製品を完全に反映しているため、製品に変更を加えると、必然的に API も変更されます。これには、製品のバグ修正や改善が含まれる場合があります。たとえば、特定のエンティティ タイプで入手できる新しい商品を追加する場合があります。または、バグ修正により、API リクエストによって返されるデータが変更される可能性があります。可能な限り、これらの変更の下位互換性を保つよう努めています。

場合によっては、下位互換性のない変更を加える必要があります。この場合、変更を理解し、スクリプトに代替を実装するのに十分な期間、変更を非推奨にします。

- 今後の非推奨のリストについては、「[API 非推奨コントラクト](#)」 ([2 ページ](#)) を参照してください。

REST API への変更点

- **改善点：**

修正バージョン：8.2.5

修正バージョン：8.6.3

/ Supplychains/leafEntities エンドポイントが利用可能になりました。

このリリースでは、独自のサプライ チェーン トポロジを定義するために使用できる /supplychains/leafEntities エンドポイントが導入されています。このエンドポイントは、「シード エンティティ」に関連する「リーフ エンティティ」のリストを返します。

シード エンティティは、ユーザー定義トポロジを定義するための開始点として機能します。Workload Optimization Manager は、指定されたシード エンティティを使用して、関連するすべてのエンティティ（またはリーフ エンティティ）を検索します。たとえば、トポロジを定義するには、頻繁にモニタする VM（シード エンティティ）の UUID を指定することから始めます。

GET /supplychains/ を実行すると

LeafEntities、Workload Optimization Manager は 3 つのリーフ エンティティ（ビジネスアプリケーション、アプリケーション）を返す場合があります。

コンポーネント、および VM がサポートするサービス。その後、シード エンティティとリーフ エンティティに基づいてトポロジ定義を作成できます。

- 修正済みの問題：

修正バージョン：8.6.1

GET および POST メソッドで返される最大エントリは 500 です。

Workload Optimization Manager バージョン 3.4.1 以降、ServiceEntities、Groups、または BusinessAccount エンドポイントで実行すると、GET および POST メソッドは最大 500 のエントリを返します。結果のページネーションを常に確認する必要があります。

API 廃止契約

以下のエンドポイント、リクエスト、DTO、およびパラメータは、Workload Optimization Manager API で廃止されました。サポート終了 (EOL) により、これらの変更を確定する製品バージョンが提供され、廃止項目は提供されなくなります。

注：

EOL が定義されている廃止項目については、代替の使用方法を参照してください。

EOL：未定

以下の機能は廃止予定ですが、どの Workload Optimization Manager バージョンがサポート終了となるかは特定されていません。

エンドポイント	なし
リクエスト	なし
要求パラメータ	なし
DTO	<ul style="list-style-type: none"> DTO：ScenarioChangeApiDTO 手順：Scenario•ApiDTO で loadChanges または configChanges パラメータを使用します。
DTO パラメータ	<ul style="list-style-type: none"> DTO：ScenarioApiDTO パラメータ：changes 手順：loadChanges または configChanges パラメータを使用します。

EOL：8.7.1

8.7.1 リリースでは、次の廃止に関する変更が行われます。廃止機能は、廃止時点で API から削除されます。

エンドポイント	なし
リクエスト	<ul style="list-style-type: none"> DELETE /entities/<entityId>/tags/<tagKey> 代わりに、DELETE /entities/<entityId>/tags?key=<tagKey> を使用します。 DELETE /groups/<groupId>/tags/<tagKey> 代わりに、DELETE /groups/<groupId>/tags?key=<tagKey> を使用します。

要求パラメータ	なし
DTO	<ul style="list-style-type: none"> LicenseApiInputDTO 手順: LicenseApiDTO を使用します。
DTO パラメータ	<ul style="list-style-type: none"> DTO: HttpProxyDTO パラメータ名: portNumber 手順: proxyPortNumber を使用します。 DTO: LogEntryApiDTO パラメータ名: reasonCommodity 手順: 配列 reasonCommodities を使用します。

EOL : 8.8.1

8.8.1 リリースでは、次の廃止に関する変更が行われます。廃止機能は、廃止時点で API から削除されます。

エンドポイント	なし
リクエスト	<ul style="list-style-type: none"> GET /search/market/ 代わりに、GET /markets を使用します。 GET /search/target/ 代わりに、GET /targets を使用します。 GET /groups/<groupId>/actions/<actionId> この呼び出しは使用しないでください (実装されていません)。 GET, POST /target/<targetId>/stats この呼び出しは使用しないでください (実装されていません)。 GET /businessunits/<busUnitId>/stats 代わりに、GET /entities/<entityId>/stats または GET /stats/<entityId>/stats を使用します。これらの呼び出しは、ビジネス ユニット エンティティ ID を使用します。 POST /businessunits/<busUnitId>/stats 代わりに、POST /stats/ <entityId>/stats または POST /stats を使用してください。
要求パラメータ	なし
DTO	なし
DTO パラメータ	なし
ENUM 値	<ul style="list-style-type: none"> entityType:VMSpec 代わりに、VirtualMachineSpec を使用してください。 entityTypes:VMSpec 代わりに、VirtualMachineSpec を使用してください。 entityTypeFilter:VMSpec 代わりに、VirtualMachineSpec を使用してください。 providerEntityType:VMSpec 代わりに、VirtualMachineSpec を使用してください。 relatedEntityType:VMSpec 代わりに、VirtualMachineSpec を使用してください。

- `providerType:VMSpec`
代わりに、`VirtualMachineSpec` を使用してください。

API 廃止の履歴

以下のエンドポイント、リクエスト、DTO、およびパラメータは、Workload Optimization Manager API で廃止されました。サポート終了（EOL）により、これらの変更を確定する製品バージョンが提供され、廃止項目は提供されなくなります。

EOL : 8.6.1

動作の変更 :

- `/search` リクエストから返されたデータのページネーション :
検索の場合、API は返されたデータをページネーションします。バージョン 8.6.1 以降、デフォルトのページネーション制限は 100 エントリで、最大ページネーション制限は 500 です。ページネーション制限を指定しない場合、API はデフォルトの制限 100 に設定されたページを返します。設定を行わず、検索結果に 100 を超えるエントリが含まれている場合、結果はページ分割されず、スクリプトは、検索結果を処理するときに常にページネーションカーソルをチェックする必要があります。

Workload Optimization Manager の `cr.yaml` ファイルのこれらの設定を変更することができます。次のエントリを見つけます。

- `apiPaginationDefaultLimit`
- `apiPaginationMaxLimit`

8.6.1 リリースでは、次の廃止に関する変更が行われました。廃止機能は、廃止時点で API から削除されました。

エンドポイント	なし
リクエスト	なし

要求パラメータ	なし
DTO	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ReportScheduleApiDTO このリリースでは、ReportScheduleApiDTO が削除されます。
DTO パラメータ	<ul style="list-style-type: none"> ▪ DTO : ActionApiDTO パラメータ名 : CurrentLocation 手順 : このパラメータのオブジェクトには、次のフィールドのみが含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> - リンク - uuid - className - displayName - discoveredBy - environmentType - vendorIDs ▪ DTO : ActionApiDTO パラメータ名 : NewLocation 手順 : このパラメータのオブジェクトには、次のフィールドのみが含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> - リンク - uuid - className - displayName - discoveredBy - environmentType - vendorIDs ▪ DTO : ProductVersionDTO パラメータ名 : buildUser 手順 : 代替機能なしで廃止。このパラメータは、8.x 製品ファミリーでは導入されていませんでした。 ▪ DTO : GroupApiDTO パラメータ名 : remoteId 手順 : 代替機能なしで廃止。このパラメータは、8.x 製品ファミリーでは導入されていませんでした。 ▪ DTO : UserApiDTO パラメータ名 : <ul style="list-style-type: none"> - roleUuid - roleName 手順 : 非推奨。UserApiDTO のロールパラメータを使用します。

EOL : 8.5.1

動作の変更 :

- 返されたデータのページネーション
次のリクエストに対しては、デフォルトのページネーションが変更されます。

- GET /groups
- GET /groups/<groupId>/members
- GET /groups/<groupId>/entities
- GET /targets/<targetId>/entities
- GET /tags
- GET /tags/{tagKey}/entities

返されたデータをページネーションするには、`limit`、`orderBy`、および `cursor` パラメータで、API によるデータのページネーション方法を制御します。現在、これらのパラメータのいずれかを指定すると、API は返されたデータをページ分割します。これらのパラメータのいずれも指定しない場合、API は出力をページ分割せず、無制限のデータ セットを返します。

バージョン 8.5.1 以降、これらのリクエストに `limit` を指定しない場合、API はデータをデフォルトの制限にページネーションします。`limit` を設定せずにスクリプトでこれらのリクエストが行われる場合、スクリプトを更新して、返されたデータのページネーションカーソルを確認する必要があります。

8.5.1 リリースでは、次の廃止に関する変更が行われました。廃止機能は、廃止時点で API から削除されました。

エンドポイント	なし
リクエスト	<ul style="list-style-type: none"> リクエスト : GET /users/onetimepassword <p>手順 : 代替機能なしで廃止。これは、Workload Optimization Manager のアクティビティには必要ありません。</p>
要求パラメータ	なし
DTO	なし
DTO パラメータ	なし

EOL : 8.4.3

8.4.3 リリースでは、次の廃止に関する変更が行われました。廃止機能は、廃止時点で API から削除されました。

エンドポイント	なし
---------	----

リクエスト	なし
要求パラメータ	<ul style="list-style-type: none"> リクエスト : GET /search パラメータ名 : regex 手順 : queryType パラメータを使用します。
DTO	<ul style="list-style-type: none"> DTO : StatPercentileApiDTO 手順 : StatHistUtilizationApiDTO を使用します。
DTO パラメータ	<ul style="list-style-type: none"> DTO : ActionApiDTO パラメータ名 : resizeToValue 手順 : newValue パラメータを使用します。 DTO : ActionScopesApiDTO パラメータ名 : limitEntities 手順 : limit パラメータを使用します。 DTO : BillingFamilyApiDTO パラメータ名 : uuidToNameMap 手順 : businessUnitApiDTOList パラメータを使用します。 DTO : BusinessUnitApiDTO パラメータ名 : hasRelatedTarget 手順 : associatedTargetId パラメータを使用します。 DTO : ScopeUuidsApiInputDTO パラメータ名 : topologyContextId 手順 : marketId パラメータを使用します。 DTO : StatApiDTO パラメータ名 : percentile 手順 : histUtilizations パラメータを使用します。 DTO : TargetApiDTO パラメータ名 : currentBusinessAccount 手順 : BusinessUnitApiDTO の associatedTargetId パラメータを使用します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。